

ふらっふ通信

「映画」村の近くについて

須山 真行

過日、勤めている事業所の近くにある知人を訪ねました。その場所はおかつての大映撮影所があったところです。近くには、東映太秦映画村が観光客でにぎわい、松竹撮影所も現存している映画の匂いのある街です。

知人の説明によると、一昔前の大映通り商店街には、お昼時になるとチョンマゲ姿の役者さんなどが闊歩されていてなかなか華やかだったとのこと。

私も大阪に住んでいたころ、時代劇のロケーションがあると聞くと、御用提灯を掲げて何回も何回も駆け抜けていくサムライ集団の姿を頼もしく眺めていたことなどが思い起こされます。出来上がった映画を映画館に見に行き、こんな風になるのかと臨場感をいっぱい味わったものです。

社会福祉法人
なづな学園
サービスセンター
ふらっふ

最近、観て「よかった」と思うことのできる映画に出くわすことが本当に少なくなかったことをとても残念に思います。自分自身を忘れ、映画の中の役者にのめりこんで行き、生きることの厳しさ、喜び、悲しみを体に吸い込み、映画館を出てからも、しばらく現実に戻らなかったことは今では懐かしい思い出です。

映画のよかった、もうひとつだった、というのはどこで分かれるものなのでしょうか。テレビのせいだと言われますが、それではテレビはかつてのよき映画に成り代わって感動の作品をいつも見せてくれているでしょうか。最近、私たち夫婦は、地デジはニュース番組以外ほとんど見るものがなくなりました。

バラエティ番組ほどつまらないものはないと思います。と言ってBSを見て、最近とみに映し出される「古都京都」や「世界の名所めぐり」も飽きてきます。

要は、毒にもならねば薬にもならない娯楽作品を出し続けておけばよいということになったのでしょうか。

別にNHKを擁護するわけではないのですが、NHKのドキュメンタリーには頭の下がる思いのする番組に出会うことがあります。知ることのできない世の中の仕組みを知ってびっくりしたり、人間の奮闘ぶりに感心したり、視聴者の心に響くところがあると思います。

やろうと思えばやれる、このことが過去のことになりきってしまわない様、願うばかりです。



新人職員からのご挨拶

初めまして。今年の4月より、同法人かしの木学園よりサービスセンターらっぷに異動してきました千葉聖です。これまで、かしの木学園では、7年間、紙工作业やパン作業などの支援員を行ってきました。

異動に伴い、4月から資格取得のため、研修に出ておりますが、5月から、みなさんの支援に寄り添いあつていきます。自身としても、初めての異動で、不慣れなところはありますが、みなさんの地域での暮らしを支えられるよう、知識も技術も向上していきたいと思っております。生まれも育ちも、京都なので、地理には問題ないのですが、バス乗車に慣れていないので、ゆつくり覚えていきますね。皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。

千葉 聖



皆さん、初めまして。今年の4月よりサービスセンターらっぷでお仕事をさせていただきます。その前は、同法人のなづな学園で紙工や製菓紙すき等の支援員をしていました。

今までは日中活動の「仕事の場」で関わらせていただいていたのですが、これからはプライベートな時間や余暇の楽しいひと時を共有できたり、生活の場面に関わらせていただくということ、とても新鮮な気持ちです。

4月は数名の方の支援に行きましたが、明るく受け入れてくださり本当にありがとうございます！まだまだ慣れず、利用者さんへバス停の場所を教えてくださいたいとお世話になりっぱなしですが、いずれは楽しい行先やスムーズなルートをご提案できるようになれば良いと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

内海 栄子

☆ちよつと豆知識コーナー☆

「紫陽花（あじさい）」

もうすぐ梅雨の季節がやってきますね。雨が続き湿気でジメジメする季節ですが、嫌なことばかりではないですよ。梅雨の季節といえば「紫陽花」が綺麗な季節です！

ここで紫陽花に関するちよつとした豆知識を掲載したいと思います。

まず「紫陽花」の語源は、藍色が集まったものを意味する「集真藍（あづさあい／あづさい）」がなまったという説が有力とされています。それを唐の詩人が別の花につけ、平安時代の学者がその漢字を「あじさい」にあてたから「紫陽花」になったそうです。

また紫陽花の綺麗な淡い色の理由は、土壌水素イオン濃度指数が、酸性だと青系に、アルカリ性だと赤系に、中性だと紫系になるからです。日本は、火山地帯で雨が多いため土壌が弱酸性で、青系や紫系が多いのですが、西洋では赤系が主流だそうです！担当は、普段何気なく紫陽花は、青だ！と思っていましたが、それは日本ならではだったわけですね(笑)さらに6月の6が付く(6月6日とか)日に紫陽花を逆さに吊るすと厄除けになるという説もあるそうです！

もちろん豆知識程度なので、正確かは分かりませんが、少しでも紫陽花を見る際の参考になれば幸いです。

退職職員から皆さんへのご挨拶

このたび、ふらっふ職員として3年間お勤めになられた、橋元朋子さんが5月末で退職される運びとなりました。3年間、多くの利用者さんのところへ明るく元気に支援をされていた姿が印象的でした。お別れの言葉を頂戴しましたので、この場で掲載させて頂きます。

三年前「仲間に加えてください」とお願いしたばかりだというのに、ふらっふを辞めることに決めました。

やっつと、みなさんと顔なじみになってきたところなのに申し訳ありません。

頭の構造が単純な私は、自分が生かされている意味を「誰かの役に立つことができているのか？」で測っています。

年老いて自分たちの力だけでは日常生活を送ることが困難になった親が、今一番私の助けを求めていると感じました。親の一生の最後の最後に、親孝行の真似事をしてみたい、と思ったのです。身勝手なことです。すみません。

ふらっふでの三年間は、本当に毎日が新鮮でわくわくドキドキの連続でした。

初めの頃は、ヘルパーとして寄り添うことがうまくできず、みなさんの心とすれ違い、一緒にいることがしんどくて悩んだこともありました。（気まずい空気を作りごめんなさいでした）いつの頃からか少しづつ、「傍に居ても良いよ」と認めてもらえ、同じ時間を楽しく過ごすことができるようになりました。

「支援してくれてありがとう」

いつも皆さんに言っていたできます。でも、

「支援させてもらってありがとうございます」

私もまた楽しくてキラキラした時間を過ごさせてもらって、温かな幸せをいただけてました。

たくさんさんのありがたうの気持ちをこれからの私の糧にしていきます。

またどこかでお会いすることもあるかと思えます。その時は笑顔でご挨拶させていただきますませ。

感謝

橋元 朋子

～リニューアルオープン！！～

ハートプラザKYOTO 三条

おすすめスポット

障がいのある人の手によって丹精込めて作られる製品その名も「ほっとはあと製品」を取り扱う「ハートプラザKYOTO 三条」がリニューアルオープン！今号はその魅力をご紹介します☆

ハートプラザKYOTO三条の主体である、京都ほっとはあとセンターは障がいのある人たちの自立、社会参加が図れるよう、京都府・京都市・府内の授産施設や共同作業所等がひとつになって設立した「京都授産復興センター」として発足し、平成19年にNPO法人となりました。

まず先ほどから多様している「ほっとはあと」とは、何のことでしょうか？これまで、障がいのある人が作られた製品は「授産」製品と呼ばれていましたが、これに代わる言葉を全国から募集し「ほっとはあと」という言葉が生まれたそうです。それ以降「授産製品」は「ほっとはあと製品」と呼ばれることになりました。

ハートプラザKYOTO三条はそんなほっとはあと製品を、1500種類超えて取り扱っています。三条商店街に入るとすぐ店内の様子が見え、とてもきれいに商品が陳列されています。すべて手作りの個性とぬくもり溢れる商品を皆さま是非手に取ってじっくり見に行かれてはいかがでしょうか？2Fにあるギャラリースペースでは様々なイベントや展覧会を開催する予定だそうです！

また商品の販売だけでなく、障がいのある方の販売実習の場として社会参加をサポートする取り組みも行われていますので、関連店舗に「実習に行ったことがある！」という方も少なからずいらっしゃるのかもしれませんがね。

皆さまリニューアルオープンした「ハートプラザKYOTO」に訪れてみてはいかがでしょうか！もう行ったという方はもう一度と言わず何度でも訪れてみてください！(笑)関連店舗の、「ハートプラザKYOTO ぶらり嵐山」もおすすめですよ☆

【アクセス】

「ハートプラザKYOTO 三条」

京阪「三条駅」より三条商店街へ約10分

地下鉄「京都市役所駅」より徒歩5分



編集後記

春のうらかな過ぎしやすい気候の合間に、初夏の訪れを感じさせる猛暑日も多々ありましたね。皆さん体調崩されてはいないでしょうか？梅雨の長雨が明けたら本格的な夏がやってきますので、今から備えて夏バテに気をつけましょう！

さて、今回は新入職員2名のご紹介をさせて頂きました。長年かしの木学園、なづな学園で務めておられた経験を元に、今後はふらっふ職員として励んでいかれることでしょう。

また、出会いと別れの繰り返しとはまさにこのことでしょうか、3年もの間副所長として、ふらっぶに在籍された橋元さんがこのたび退職される旨のご挨拶を掲載させて頂きました。寂しい想いが募るばかりですが、残る私たちがしっかりと想いを紡ぎたいと思っております！

新年度を迎え、新しいふらっぶ一同頑張っていけますので皆様よろしくお願いたします。